

# 付着生物(ユウレイボヤ等)ラーバ情報

平成27年11月18日～12月2日に陸奥湾6定点で付着生物(ユウレイボヤ等)ラーバ調査を行ったので、その結果をお知らせします。

## 1 ラーバの出現数

ユウレイボヤラーバの出現数の推移は図1、表1のとおりで、久栗坂沖で12/2に5.0個/トン、小湊沖で11/18に1.3個/トン、野辺地沖では11/24に2.3個/トンでしたが、他の3地点では見られませんでした。

オベリア類(通称クサ)のクラゲの出現数の推移は図2、表1のとおりで、久栗坂沖で12/2に0.6個/トンでしたが、他の5地点では見られませんでした。

キヌマトイガイ(表1)、ネンエキボヤのラーバは見られませんでした。

なお、マボヤラーバが5地点で見られており、今回は、天然採苗されている漁業者の方々の参考として表1に追加しました。

## 2 水温の状況

各ブイの12月6日の平均水温は、表2のとおりです。

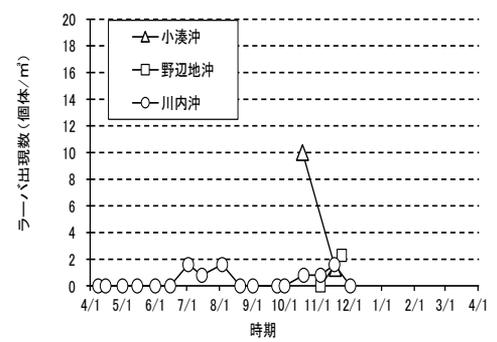
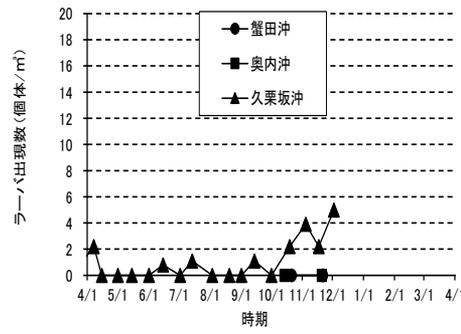


図1 ユウレイボヤラーバ出現数の推移(4～9月は久栗坂・川内のみ)

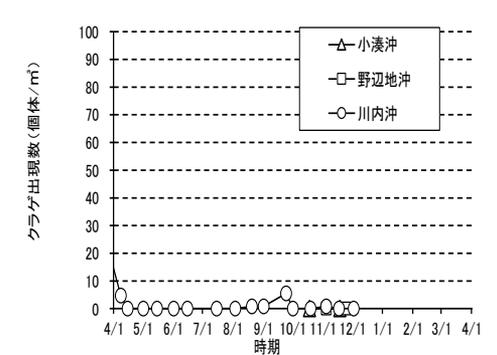
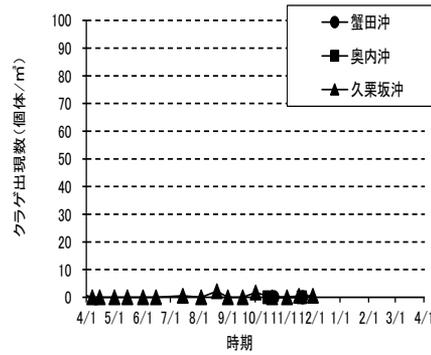


図2 オベリア類のクラゲ出現数の推移(4～9月は久栗坂・川内のみ)

表1 ラーバ等の出現状況

調査地点	調査月日	ユウレイボヤ	オベリア類	キヌマトイガイ	マボヤ
蟹田沖	H27.11.21	0.0	0.0	0.0	0.0
奥内沖	H27.11.20	0.0	0.0	0.0	2.5
久栗坂沖	H27.12.2	5.0	0.6	0.0	2.2
小湊沖	H27.11.18	1.3	0.0	0.0	4.0
野辺地沖	H27.11.24	2.3	0.0	0.0	1.6
川内沖	H27.12.2	0.0	0.0	0.0	0.8

※久栗坂・川内沖は実験漁場内

表2 各ブイの中層における日平均水温(12/6)

観測地点	水温(°C)	観測地点	水温(°C)
平館ブイ	13.3	東湾ブイ	11.7
奥内ブイ	12.0	浜奥内ブイ	9.9
青森ブイ	12.1		

※奥内,浜奥内は10m層,他は15m層

## 3 今後の見込み

ユウレイボヤは、ラーバの発生が続いていますが、今のところ西湾の出現数は、昨年同時期に比べて少なめです。付着した小さい個体はこれから成長していくものと思われます。

ネンエキボヤも今後、ラーバが付着して出来たコロニー(群体)が無性生殖(「株分かれ」のように増える)で増加していくものと思われます。

また、オベリア(クサ)の付着はまだ見られていませんが、数はすくないもののクラゲが出現してきており、春先に付着被害を及ぼす大型のオベリアは、年明け以降にかけて付着していくものと考えられます。

キヌマトイガイ(コメガキ)は、年明け以降にラーバが出現すると思われます。今後のラーバ等の出現動向については、次回(12月下旬発行予定)の情報を参考にしてください。

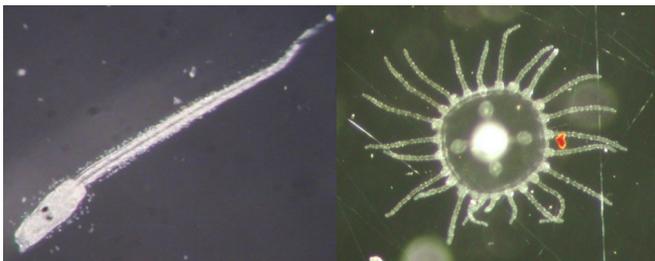


写真1 ユウレイボヤの浮遊幼生(左)とオベリアのクラゲ(右)



写真2 パールネットに付着したユウレイボヤ、ネンエキボヤ

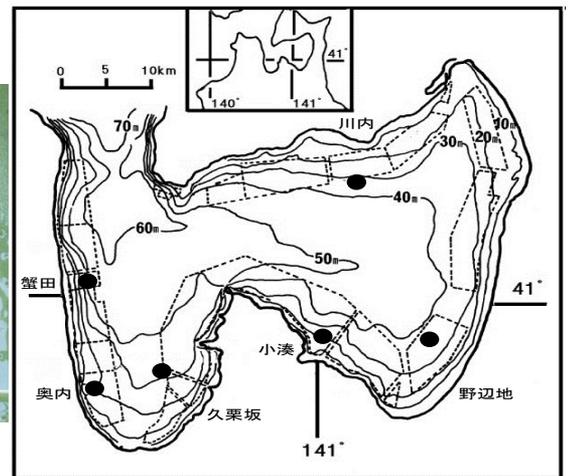


図3 ラーバ調査地点

発行元：地方独立行政法人  
青森県産業技術センター 水産総合研究所  
住所：青森県東津軽郡平内町大字茂浦字月泊10  
TEL：017-755-2155 FAX：017-755-2156

水産総合研究所ホームページURL：<http://www.aomori-itc.or.jp/index.php?id=2184>

ホタテガイ採苗速報 携帯電話用QRコード(①)

海ナビ@あおもり 全モバイル端末共用QRコード(②)

